



発行所：特定非営利活動法人ベトナム子ども基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話・FAX：03-3945-2415 (日中留守電)

Eメール：kodomo.kikin@nifty.com ホームページ：http://homepage3.com/vcf/

# ベトナム子ども基金通信

No.50

2010.6.5



里子との交流会にて(2009 ベトナムスタディーツアー・ハノイ)

私には3人の里子がおります。そのうち2人の子どもと昨年の秋に会うことができました。言葉が通じないことのもどかしさがあるものの、まっすぐな瞳で一生懸命語りかける子どもたちに自分の心がすすがれていくのを感じました。

両親を亡くし、若い姉夫婦に養われている里子の一人は、14歳とは思えないくらい体が小さく幼く見えました。

学校では、定期的に学費を納めていない子どもが呼び出されるそうです。いつも自分の名前が呼ばれるのではないかとドキドキし、名前が呼ばれないことで安心し、うれしく思うのだと彼は話してくれました。

学校に行けること、勉強できることはありがたいこと。夢を持てること、誰かのために頑張れるのは幸せなこと。

こんな幸せを感じるために

障壁となる要素はベトナムと日本では違っていています。しかし、これらは比較することはできず、どちらも違った障壁を持っています。お互いが不足している要素を補うことで、幸せを感じられること、そこに人と人とのつながりがあり、生きていることの意味を感じます。

にしのゆみ  
(西野由美)

# 祝「ベトナム子ども基金通信」50号

会報の発行は大変な事業です。50号を重ねる皆さんのご努力に敬服するばかりです。これからもよろしく申し上げます。

さて、この4月に（群馬県前橋市）公立前橋工科大学社会環境工学科／建設工学科にレ・バン・フォン君が入学しました。在留期限ぎりぎりになっての査証更新が済んで、4月5日雨模様の中、私たち夫婦といつも参加をしてくれる神田夫人の3人が入学式に臨みました。式の後にはささやかな昼食をとり、満開の桜の下で撮った写真は記念になったと思います。フォンの上にこれからの時間が豊かに流れることを祈るばかりです。



5月2日上々の天気の日にはビン、アン、フン、フォンと4人そろって我が家で生春巻きを作ってもらいました。早々にビールを飲みながら料理を始めた会は、私のおい家族を含め総勢12名、焼肉コースもあってにぎやかな1日となりました。

私の長女は、フランス・パリに留学中です。担当の教授、研究の仲間、下宿の大家さん、近所のお店やマルシェ



のおじさん・おばさん、本当に大勢の方にお世話になっています。居心地のよい環境での生活は素晴らしいことです。私たちも、留学生と接するときにはそう心がけたいと常々思っています。

1964年は私の大学入学の年でした。新幹線が走り、東京オリンピックを学食のカラーテレビで観た感動を覚えています。そして2年後、新星学寮の入寮試験をкаろうじて通過し、今日まで得難い経験をさせていただいてきました。時に、1965年2月の北爆開始から戦域は拡大し、ベトナムからの留学生は日に日に不安を増していきました。1967年、寮友グエン・ドク・ホウエさんはベトナムの後輩たちを支援するために「東遊学舎」を西ヶ原に借り受けました（「ホウエさん」「東遊（ドンズー）」については、子ども基金のホームページ、アジアの友[2010 APRIL-MAY]をご参照ください）。新星学寮はアジアと日本の学生が共同で生活をしているところです。「東遊学舎」にも寮生をといるときに、私が光栄にも第1号の寮生となりました。

少々古びていても炊事場・便所・小部屋そして広間があって、生活の問題はなかったと思います。ホウエさんは拾ってきた茶わんで食事をしたなどと言うのですが。私は歴史的なチーム「東遊」を具体的な生活で共有したのでした。

1906年ファン・ボイ・チャウさんは反仏運動の武器支援を求めることから独立運動には若い指導者を育てることが重要だと、優れた青年を日本に送り育てることに奔走しました。1974年ホウエさんは激しい戦況の中帰国し、ベトナムの回復に身命をかけて活動を始めたのです。ドンズー日本語学校は日本の心と科学技術を導入すべく人材育成を目指し、多くの留学生を日本へ送り出しています。青葉奨学会は将来の人材となる低学年生に就学機会を与え、これからは大学の創設が目前にあるといわれます。子ども基金を通して、ホウエさんの心願成就にほんのわずかでも協力できればと思っています。

しみずゆうじ  
(清水勇治)

\*清水さん：学生時代に新星学寮でホウエさんと寝食を共にする。ホウエさんが新星学寮を出て、ベトナム留学生後輩たちのための寮「東遊学舎」を作ったとき、そこにホウエさんとともに泊り込んで準備する。子ども基金最初期からの里親であり、奥さまとともに、ベトナム留学生のためにホームステイその他日常の支援をしてくださっている。（編集部）

# 僕がここにいる理由

僕は8年前に日本に来ました。最初の2年間は静岡市にある日本語学校に通って、大阪大学に入学して、大学院まで進学しました。専攻は化学工学でした。今年の春、大学院を修了して味の素エンジニアリング株式会社に入社し、今は研修しています。ここまで来た道は長かったように思います。

僕は中学卒業後、実家（北部）を出て、ホーチミン市（南部）の高校に入りました。南部の方が、いろいろな側面で発達しているからでした。言葉、気質、食、交通のありようなど、北部と南部はずいぶん違いました。うまく比喻できませんが、東京と大阪というよりは、東京と沖縄以上に、文化や歴史、食の違いがあります。

そのような環境の中で僕が学んだことは、「外に出ること」「慣れていない環境に入ること」の大切さと難しさでした。外に出ると自分が見え、他人の中に自分の欠点や細部が映ります。人や文化、また経済や政治も、相互作用で動いているのだということを感じました。僕は、だんだん留学を考え始めました。

日本という国は中学時代に知りました。ベトナム人は昔から、日本を「桜」や「日の出」「富士山」のイメージでとらえ、きれいな

印象を持っています。そして、SONYやHONDA、SHISEIDO、AJINOMOTOを知らないベトナム人はいないといっていると思います。日本のバイクは常にベトナム人に人気があり、電化製品は「高いけれど長持ちし機能もよく、一番いい」といわれます。僕は日本の「美」や「技」に憧れ、そして、日本を知りたい、日本の先端技術を身につけたいという思いが膨らんでいきました。ちょうどそのとき、ホーチミン市のドンズー日本語学校が、日本への留学生を募集していました。僕は、日本への留学を決めました。

ドンズー日本語学校のおかげで日本に来ることができました。しかし、ベトナムからの仕送りを期待するのはとても無理なので、アルバイトをして生活費や日本語学校の学費、そして大学の入学金も全部自分で負担しました。3つのアルバイトで毎月、17万円くらい稼ぐ時期もありました。午前中、日本語学校の授業に出て、午後はスーパーの中のお寿司屋さん、夕方から22:00までラーメン屋さんでアルバイトをして、それが終わってすぐコンビニのアルバイトに入って朝の5:00まで仕事するという時期がありました。アルバイトばかりしていました。ですから学校に行っても寝

るだけでした。

つらいことは随分ありました。しかし、それを乗り越えたことで自分が成長できたように思います。日本に来て本当によかったです。青葉奨学会を通じてドンズー日本語学校を知り、ホウエ先生に出会えてよかったです。ホウエ先生をはじめ、里親さま、青葉奨学会の皆さんに心から感謝しています。

今、僕がここにいるのは皆さんのおかげです。皆さんに直接に恩返しすることはできないのかもしれませんが、社会に還元したいと思います。まず、里親になって、子ども基金の皆さんと一緒にベトナムの子どもたちを援助したいと思います。また、起業家となって工場を立ち上げて母国に貢献するという目標に向けて仕事を頑張っていきたいと思います。

元青葉奨学生

(ゲン・コック・カン)

\*カン君：高校時代に編集部・黒羽の里子となり、日本留学後に再会。留学後も交流が続いている。今夏、日本留学中のベトナム人女性との結婚を控えている。



昨年末里親と松山にて

## 2010年定期会員総会開催について (通知)

会員各位

特定非営利活動法人ベトナム子ども基金  
代表 近藤昇

拝啓 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素はベトナム子ども基金の活動に温かいご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。さて下記の通り2010年定期会員総会を開催いたします。ご多忙中恐縮ですが、ご出席いただきたくご通知申し上げます。なお、会員総会は会員の3分の1以上の出席をもって成立します。当日総会にご出席にならない方で委任状提出のない方は、ご意見を議長に一任したものとさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。同封の「出欠はがき」に必要事項をご記入の上、お手数ですが、切手を貼って、6月15日(火)必着でご返信ください。

敬具

### 記

日時 2010年6月19日(土) 午後2時から4時  
場所 アジア文化会館・教室

議題 1号議案 2009年活動報告  
2号議案 2009年決算報告および会計監査報告  
3号議案 2010年活動計画案  
4号議案 2010年予算案

総会終了後、ベトナム人留学生ドアン・ティ・トゥイ・チャンさん(元青葉奨学生、現新潟大学工学部4年生女子)にスピーチをしていただきます。またその後で、懇親会を予定しております。ベトナムの友人からいただいたおいしいベトナムコーヒーを用意しておりますので、皆さま交流を深めて、楽しい時間をお過ごしください。お菓子、おつまみ、お酒などご持参いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

### ■ベトナム子ども基金2009年度活動報告

2009年にベトナム子ども基金が受け持った青葉奨学生(里子)は411名でした。会員の皆さま、ご支援、ご協力くださった皆さまに心よりお礼申し上げます。

2009年9月29日に3,290,813円を青葉奨学会に送金しました。その内訳は2009年度の青葉奨学金と管理費の不足分1,652,164円、2009年度黄葉奨学金1,453,569円、2009年度春の木運動支援金追加分136,000円、ドンタイン小学校へノート寄贈分49,080円です。

また、昨年10月15日に特定非営利活動法人となり、4月から3月までを年度とすることにしましたので、昨年10月15日以降今年3月までの青葉奨学会への送金は2010年2月12日に送った4,215,000円です。内訳は青葉奨学金3,161,000円、管理費561,000円、黄葉基金21,000円、春の木運動支援金472,000円です。今回の「春の木運動」は2009年12月初めから呼びかけを始め、2010年1月15日までに上記の寄金をいただきました。この寄金は昨年大型台風に何度も襲われたベトナム中部地方の被災した子どもたちの支援に使われました。

「ベトナム子ども基金通信」は46、47、48号を発行しましたが、49号は年内に発行できませんでした。2010年度は4回の発行を実現します。

スタディーツアーは参加者6名で、10月10日に成田発、ハノイに2泊、フエに2泊し、機中1泊で10月15日に帰国しました。青葉奨学会のスタッフや里子とその家族と交流し、学校・施設訪問などを通じて、ベトナムの教育・社会の実情に触れることができました。

事務局運営会議は任意団体のときの運営委員会と同じく、原則として毎月第3土曜日の午後に行われました。ただし2月は文京区国際交流フェスタに参加しましたので、開催できませんでした。

2009年1月から10月までに新しく入会された方は、里親基金会員10名、一般基金会員2名、賛助基金会員5名です。また特定非営利活動法人になってからの新会員は里親基金会員5名です。今後の末長いお付き合いをお願い申し上げます。

## ■ベトナム子ども基金2010年度活動計画

2010年に子ども基金が受け持つことになった青葉奨学生（里子）402名が安心して学業に精進できるように、奨学金支援を継続します。そのためには、どのように社会へ呼びかけたらいいのか、よく考えて実行に移したいと思います。ホームページの更新はスタートしていますが、協力留学生の皆さんの力をお借りして、更新のスピードアップを図りたいと思います。

懸案の子どもたちとのやりとりは、昨年よりはいくらか好転したとはいえ、まだまだ十分ではありません。翻訳ボランティアの皆さん、青葉奨学会スタッフと在日ベトナム留学生の皆さんのご協力の下に、子どもたちと里親の皆さんとのよりスムーズなコミュニケーションを目指して努力します。

今年の「春の木運動」協力寄金は昨年大型台風にも何度か襲われたベトナム中部地方の被災した子どもたちの支援に使われました。今年末からの活動も早目に呼びかけを開始し、厳しい条件の下で頑張っている子どもたちがお正月を迎えるために、少しでもお役に立ちたいと思います。

事務局運営会議は、今年度も毎月第3土曜日に開催を予定しています。会議の後に、主に留学生の皆さんからベトナムのさまざまな分野についての率直なお話を伺う勉強会があります。会員やご友人の皆さまの参加をお待ちしています。

「ベトナム子ども基金通信」は引き続き、子ども基金の支援の様子と青葉奨学生（里子）たちの気持ちをできるだけお伝えしていきたいと思います。昨年は3回の発行に終わりましたが、今年は年4回の発行を予定しています。

里子訪問スタディーツアーは今年も行う予定です。内容が決まりましたら、皆さまにご連絡差し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 2009年度事業報告

2009/10/15～2010/3/31

### 1.事業の成果

経済的理由等により教育を受ける機会に恵まれないベトナムの子どもたちに対して奨学金を支給するとともに、台風被災地の小中学校への支援を行った。また、活動の様子を知らせるために講演会、勉強会等を行った。

### 2.事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
奨学金支給事業	ベトナムの子どもたちに奨学金を支給した	2月	ベトナム全域	10人	就学が困難な児童生徒370人	3,182
その他の事業	台風被災地の小中学校、孤児院等への支援(春の木運動)を行った	1-2月	ベトナム中部	3人	就学が困難な児童生徒、障害児800人	1,033
交流事業	会員と関係者との交流のために、講演会、勉強会等を実施した	12月、1月 3月	法人事務局	4人	会員と関係者60人	0
情報交換事業	文京国際交流フェスタに参加し、PR及び情報交換を行った	2月	東京都文京区	10人	一般市民不特定多数	0
	ホームページを充実し、活動内容の紹介と国際交流の啓発を図った	随時	法人事務局	2人	一般市民不特定多数	0

2009年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録  
2010年3月31日現在

科 目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現金預金			
現金	29,255		
普通預金			
みずほ銀行駒込支店(1)	193,862		
みずほ銀行駒込支店(2)	11,205		
みずほ銀行駒込支店(3)	10,356		
郵便振替口座(1)	506,060		
郵便振替口座(2)	0		
郵便貯金	14,091		
流動資産合計		764,829	
2固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			764,829
II 負債の部			
負債合計			0
正味財産			764,829

2009年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表  
2010年3月31日現在

科 目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現金預金	764,829		
未収入金	0		
流動資産合計		764,829	
2固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			764,829
II 負債の部			
負債合計			0
III 正味財産の部			764,829

2009年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書  
2009年10月15日から2010年3月31日まで

科 目	金額(単位:円)	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
会費収入	1,588,000	1,588,000
2 寄付金収入		
賛助金収入	61,289	
黄梅基金収入	41,205	
春の木運動収入	472,000	574,494
3 その他収入		
利息収入	4	
任意団体からの繰入金	3,096,028	3,096,032
経常収入合計		<u>5,258,526</u>
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 奨学金事業	3,182,000	
(2) その他の事業	1,033,000	4,215,000
2 管理費		
役員報酬	50,000	
家賃(光熱水費込み)	86,784	
備品・消耗品費	13,538	
通信運搬費	75,959	
印刷製本費	16,026	
交通費	24,800	
雑費	11,590	278,697
経常支出合計		<u>4,493,697</u>
経常収支差額		<u>764,829</u>
III その他資金収入の部		
合計		0
IV その他資金支出の部		
合計		0
当期収支差額		<u>764,829</u>
次期繰越収支差額		<u>764,829</u>
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額(再掲)	764,829	764,829
2 負債減少額		0
増加額合計		<u>764,829</u>
VI 正味財産減少の部		
1 資産減少額		0
2 負債増加額		0
減少額合計		<u>0</u>
当期正味財産合計		<u>764,829</u>

注：任意団体の「ベトナム子供基金」から、昨年10/15にNPO法人化されてから事業年度の期日3/31までのご報告となります

2010年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書  
2010年4月1日から2011年3月31日まで

科 目	金額(単位:円)	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1会費収入	6,000,000	6,000,000
2寄付金収入		
賛助金収入	500,000	
黄梅基金収入	1,500,000	
春の木運動収入	800,000	2,800,000
3その他収入		
利息収入	1,000	
前期繰入金	764,829	765,829
経常収入合計		<u>9,565,829</u>
II 経常支出の部		
1事業費		
(1)奨学金事業	5,300,000	
(2)支援事業費		
黄梅基金支援	1,500,000	
その他の支援	800,000	
(3)交流事業		
「通信」発行	250,000	
スタディツアー	50,000	
(4)情報交換事業		
ABK祭り等への参加	30,000	
ホームページ維持更新	10,000	7,940,000
2管理費		
役員報酬	120,000	
人件費	360,000	
家賃	120,000	
電話架設費	50,000	
備品・消耗品費	40,000	
光熱水費	40,000	
通信運搬費	190,000	
印刷製本費	200,000	
交通費	120,000	
租税公課	70,000	1,310,000
3予備費	30,000	30,000
経常支出合計		<u>9,280,000</u>
経常収支差額		<u>285,829</u>
前期繰越収支差額		<u>764,829</u>
次期繰越収支差額		<u>285,829</u>

注：NPO法人を設立する時は2年分の事業計画書を都庁へ提出しなくてはならないので  
22年度の事業計画は前回の総会で決議済みです



## 2010年度事業計画

2010/4/1～2011/3/31

## 1.事業実施の方針

経済的理由等により教育を受ける機会に恵まれないベトナムの子どもたちに対して、奨学金を支給し、学校建設や教育施設・改修し、教育環境を改善していく。また、活動の様子を知らせるために通信を発行して、会員と関係者との交流に役立てる。

## 2.事業の実施に関する事項

## (1)特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施 予定日時	実施 予定場所	従事予 定人数	受益対象者の 範囲及び予定人数	支出 見込額 (千円)
奨学金 支給事業	ベトナムの子どもたちに奨学金を支給する	10月 3月	ベトナム全域	10人	就学が困難な児童生徒400人	5,300
学校建設 施設改修 事業	学校建設及び施設改修	10月 3月	ベトナム全域	5人	辺地の児童生徒600人	1,500
その他の 事業	経済困窮地域の小中学校、孤児院等への支援(春の木運動)	1月	ベトナム全域	3人	就学が困難な児童生徒、障害児800人	800
交流事業	会員と関係者との交流のために「ベトナム子ども基金通信」を発行する	1月、4月、 7月、10月	法人事務局	5人	会員と関係者500人	250
	スタディツアーを実行する	10月	ベトナム	3人	会員約15人と生徒及び学校関係者学級	50
情報交換 事業	ABK祭り等に参加し、他団体との情報交換を行う	9月～11月	東京都内	5人	一般市民不特定多数	30
	ホームページの充実を図り、活動内容を紹介し、国際交流の啓発を図る	随時	法人事務局	2人	一般市民不特定多数	10

ベトナムからの  
手紙充実した大学生活を  
送っています

フォン・ティ・ミン・チャン

長い間、里親さまとお話ししていませんね。青葉奨学金は高校を通じて頂いていたので、卒業してから里親さまに手紙を送ることができなくなりました。この前奨学会の職員の方から、里親さまが私のことを尋ねていたと聞いて、うれしかったです。

さて里親さま、私は今、大学2年生になりました。大学での勉強は高校より何倍も難しいです。さらに先生は高い学力を求

めます。もっと勉強し、前より効果的な勉強方法を探さなくてはだめだと思いました。その方法として、グループ行動は新鮮ですが慣れないので、最初はどうもできませんでした。時にはけんかにもなりました。しかし、だんだん慣れてきてグループで仕事すると、効果的だと実感しました。一緒に考え、アイデアを出し合い、ディスカッションします。もちろん、一人でやるよりずっとよい結果に結びつきます。特に、けんかした後に、みんなが反省し間違いを認め修正しますが、とてもいいことは、友達とのきずなが深まることです。成長するためには、グループ行動が一番の近道だと私は思いました。

私の学校の先生方はみんな親

切で熱心です。初めのころ、大学の環境に慣れるか心配しましたが、今は楽しくやっています。先生方はベテランぞろいので、学生が求めていることは何でも教えてくれます。勉強のことだけでなく何でも気軽に聞くことができます。

今年の夏休みにボランティア活動に参加しました。私たちは目の見えない方に新聞や本などを読んだり、文字を教えたりしました。ほかに録音をして、勉強道具などを作りました。楽しかったです。皆さん目が見えなくても、日常生活にはあまり大きな影響がないようで、自信を持って、努力し成功していらっしやいます。本当に尊敬できる方々でした。

また、グリーン・サマーとい

う別のボランティア活動に参加しました。ボランティア団体の青い制服を着て、高校生たちの大学受験とご家族の手伝いをしました。それは大学生ボランティアの特徴ともいえ、誇りであるともいえます。ベトナムの夏の太陽の下でほとんど立ちっぱなしの3日間でした。本当のことを言うと、疲れきってやめようかと思ったこともありましたが、ご家族や高校生たちから感謝の言葉をもらって、心が温かくなり、うれしかったです。参加してよかったと思いました。ボランティアの青い制服を着ていると、皆さんが優しくしてくれたり、いろいろ声をかけてくれたりします。ボランティアを終えると、みんなで寮に集まり、歌ったり話したり面白いゲームなどいくつもやりました。そのことは私の忘れられない夏休みの思い出です。

まだまだたくさん話したいことがあります。これからも私のことを忘れずにいてほしいと思います。里親さまのことはいつも感謝し、尊敬しています。

最後になりましたが、里親さまとご家族の皆さまのご健康、ご成功、そして、幸せをお祈りいたします。

## 幸運は自分の中に

グエン・ティ・  
ティン・フエン

敬愛する里親さま

人々は“幸運”ということをどのように感じているのでしょうか。私はそれをとても素朴な意味で感じます。つまり、私にとっては、両親から生まれ、兄とともに両親の愛情の下でここまで育てられたことが、大きな

幸運だと思っています。兄は、勉強はそれほどできませんし、両親もお金持ちではありませんが、彼らは素朴な労働者です。私は彼らの愛情に包まれて生活しています。それはとても幸運なことだと思っています。

私はいつも両親を喜ばすことができたらいいな、と望んでいます。親にとっては子どもが成功するのを見るのは、何よりの喜びです。それを実現するためにも、私は頑張って勉強しています。両親を喜ばせたり、母の病気を治したり、両親の苦労を軽減したり、また社会に貢献できるように勉強しています。高校になって省の専門学校に受かり、2007年から子ども基金の奨学金をもらい、今年も里親さまから支援をいただいています。これも私にとってはとても幸せなことです。しかし幸運・幸福は自分からは来ません。ほとんどは各自の努力によります。

里親さまの支援は私にとっては物質的なものばかりではなく、精神的にも大きな贈り物です。遠い日本の心優しい人が、勉強が好きなベトナムの恵まれない子どもたちと一緒に困難を分かち合っているのを感じています。

里親さま、ベトナムで私に会ったことを覚えていますか。会う時間も短く、また言葉も違うためあまり長く話し合うことができませんでしたが、私は里親さまが私に抱いている気持ちを十分に感じました。そのときから私は日本へ留学したいという気持ちを抱くようになりました。第1は役に立つ人間になるためには知識が必要だと思ったこと。第2は里親さまに会って、いろいろ里親さまと話したいのです。第3は日本、日本人

が好きで、富士山と桜を見るのも好きなためです。

里親さまと撮った写真は自分の勉強する机の隅に置いてあります。そうすれば、毎日里親さまの顔が見られます。また里親さまの期待を裏切らないように頑張らなければと決意を新たにできます。

後3カ月近くで大学入試です。大事な試験です。自分の希望、夢を実現するために頑張ります。

里親さまはお忙しいだろうと思いますが、お手紙をお待ちしています。

里親さま、子ども基金の皆さまの健康、幸福、また仕事がうまくいきますようにお祈りします。

## 健康で役に立つ 人になりたい

グエン・テ・クオン

敬愛する里親さま

初めて遠い日本から里親さまの手紙をもらったのは、ちょうど新学年の入学日の翌日で、私はとてもうれしくて、すぐ開けて読みました。私は繰り返して3回も読んで、3回目には大きい声で両親と2人の姉に聞かせました。

里親さまの手紙を読んで、あまりに感動したので涙がほおに流れて、のどが詰まりました。親切な人に会えたと感じました。里親さまとご家族の皆さまが元気でいらっしやることを知ってうれしいです。

里親さまから心のこもった手紙をいただきましたので、私も勇気を奮って、里親さまに私の家族、生活、私の毎日のことを書きます。

私は幼稚園へ行く5歳のときから、リュウマチにかかっています。前学年に再発して、第1学期の初めに私は2週間入院して治療しました。ですから、今期は「優秀」の成績が取れず、「良」の成績しか取れませんでした。里親さま、両親、先生方の期待に応えることができなくて、とても寂しく思っています。

私の家族は父、母、姉が2人と私の5人家族です。父は43歳で、1990年から現在まで精神を患っています。病気にかかったばかりの数年は、父はまだ母の家事を手伝ったりしていましたが、この7年間はほとんど何もできません。

母は47歳で、父の薬代と家族の毎日の生活費のためにわが家の約1800㎡の田んぼを耕し、またそのほかによそのうちへ手伝いに行っています。

わたしの一番上の姉は17歳で、高校3年生です。姉も小学3年生からリュウマチにかかっています。姉はまた重度の近眼で

すので、勉強も大変です。でも姉は頑張って勉強して、毎学年「良」の成績を取って、賞状をもらっています。

2番目の姉は14歳で、中学4年生です。毎日私は学校へ行くときに、この姉に自転車に乗せてもらいます。帰りは私の学校は姉の学校より早く終わるので、私は歩いて帰ります。

毎日私は朝起きると、母と姉たちが朝ごはんの準備と洗濯をしている間に、寝具を片づけて家の掃除をします。学校が終わると、40分歩いて帰ります。家に着いてから着替えて、それから母の晩ごはんの用意を手伝います。家にはガスコンロも電気コンロもないので、わが家はわらを使って調理します。父は一人で留守番をしていて、寂しいだろうと思います。父は私が家に帰ると、時々私の頭をなでて、「いい子だ」と言ってくれます。

母は私に「あなたはしっかりと勉強して、社会に役に立つ人間になりなさい」と言います。

「そのためにはいくら苦勞しても、またお金を借りるようになって、あなたのために喜んで働きます」とのことです。ですから毎日学校から帰って母の手伝いができるように、私は自分が健康であるように望んでいます。私の夢は、高校を卒業してから兵士になって、国が必要とするならどこへでも行って、国のために尽くすことです。

里親さまに支援をいただくようになってから、もう1年近くになりました。里親さまの支援は、私の勉強に対して大いに励ましを与えてくれます。私は奨学金を教科書や勉強道具を買うのに充てています。そのおかげで母の負担もいくらか減っていると思います。

次回、また里親さまといろいろ話したいと思います。里親さまとご家族の皆さまの健康、幸福をお祈りします。

## ●事務局から

◆ご入金報告      ご支援ありがとうございます(順不同・敬称略)      (「新」は新規会員)

2010年3月

2010年4月

お願い：通信送付の際の封筒宛名に、里親会員と一般会員になられている方には、会員番号と最終入金日が記入されています。年会費の納入をお忘れなきよう、お願いします。

## ◆ベトナム子ども基金会員募集！(友人・知人をお誘いください。ご協力をお願いします！)

里親基金：年額1口 20,000円 学生会員：年額1口 10,000円	特定の子どもに「里子」として奨学金を支給する「里親」になっていただきます。ベトナム青葉奨学会から、子どもと家族の状況を説明する履歴票が届き、里子との手紙のやりとりができます。
一般基金：年額1口 12,000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。通信を通じて会の運営報告、子どもたちの様子などをお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数などいっさい自由です。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設します。該当学校に青葉奨学金を併設することも可能です。
個別黄梅基金：1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立し、預金利子を奨学金とします。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上決定します。
ベトナム黄梅基金：1口10,000円	複数のベトナム子ども基金会員で基金を設立し、預金利子を奨学金とします。

・ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座をお願いいたします。**NPO化で口座番号が変わりました**

口座名(共通) 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金 (カナ)：トクヒベトナムコドモキキン

里親基金用(一般、賛助基金を含む)

郵便振替 00100-6-546799 銀行(みずほ銀行駒込支店) 普通1121865

黄梅基金用(個別寄付、学校建設を含む)

郵便振替 00130-4-552361 銀行(みずほ銀行駒込支店) 普通1121873

## ・ベトナム子ども基金への電話・FAX連絡先が新しくなりました。ただし、日中は留守電対応となります。

新電話・FAX：03-3945-2415 (日中は留守電)

## ◆事務局だより

NPO法人ベトナム子ども基金は、「総会」「理事会」と日常の問題点などを話し合う「事務局運営会議」によって運営されています。事務局業務は、ボランティアスタッフによって行われています。皆さまお忙しい中、会の発展のためにご尽力いただき感謝申し上げます。

事務局は、ニュースレターの発送業務、翻訳、イベントの企画・準備など、事務局業務を補佐していただける方を随時募集しています。ボランティアスタッフとしてご登録いただいた方には、お願いしたい業務やミーティングをその都度、事務局からお知らせしますが、ご都合のよいときだけ参加することが可能です。現在、留学生からシニアの方まで、職業も年齢もバラバラの老若男女が、無理のない範囲でお手伝いくださっています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。(事務局長 樋川)

☆それぞれ担当を紹介させていただきます。

- |            |                         |         |        |
|------------|-------------------------|---------|--------|
| ・青葉奨学会との連絡 | 近藤                      | ・経理     | 近藤、並木  |
| ・会員管理      | 近藤、坂本                   | ・HP更新管理 | 黒羽、フイ  |
| ・通信編集      | 黒羽、西野、北川、今井             | ・発送     | 小河原、本間 |
| ・翻訳        | 早川、浅利、南、チー、ベトナム人留学生の皆さん |         |        |
| ・事務局運営会議   | 中原、原、上野                 | ・里子手紙   | 吉原     |
| ・スタディーツアー  | 黒羽                      | ・総務     | 奥山     |

\*基本的に毎月第3土曜日の14:00~15:00までアジア文化会館にて事務局運営会議(通信49号で発表いたしました「運営委員」は「事務局運営委員」と名称を変更させていただきます)を開催しています。また、15:00~17:00は、「ベトナム勉強会」を開催しています。両方ともどなたでも参加可能ですので、会の発展のために皆さまのご参加・温かいご意見をお待ちしております(行事により日程の変更もありますので、お手数ですがご参加いただける方は、事前に事務局までご連絡をお願いいたします)。

ベトナム青葉奨学会 QUY HOC BONG LA XANH 電話：84-8-8477359 FAX：84-8-8477527  
C/O TRUONG NHAT NGU DONG DU 43D/46 Ho Van Hue, Q. Phu Nhuan, Ho Chi Minh, Viet Nam  
「ベトナム子ども基金」は、ベトナム現地の「青葉奨学会」を通してベトナムの子どもに奨学金・支援金を贈っています。